

---

## 但馬地方の昆虫相に関する文献

(兵庫県甲虫相資料・297)

高橋 寿郎

---

高橋匡氏がIRATSUME No. 3 (1979) 誌上で、「但馬地方の昆虫相に関する文献資料(補遺1)」として発表された次の文献を一度見たいものだと思っていた。

① 山本茂信：妙見山資料館奉納 妙見山昆虫採集目録 B5, 4p. (1962)

② 妙見山資料館：妙見山生物資料館報(第2号) B5, 22p. (1963)

③ 妙見山資料館：妙見山生物資料館報(第3号) B5, 18p. (1964)

1994年7月、同氏の御好意でこれらの文献を見せていただくことができた。

以上の3文献は、養父郡八鹿町石原にある日光院(妙見山麓)の資料館に保管されている八鹿高校、豊岡高校による妙見山を主体とした収集標本をまとめ、記録したものである。①のみ当時豊岡高校で教鞭をとっておられた山本茂信先生の著になっているが、②③は豊岡高校生物部による整理記録のようである。

各文献に収録されている昆虫類の種数は、高橋匡(1979)が簡単に解説している。ただすべて和名のみで、学名が全くない。それとミスプリントと考えられる種名がある。例えばシヤコガネ、イイロビロウドコガネ、フジコガネ、ヒナコガネなどである。採集データはついている。この中で注目すべき記録として、オオダイセマダラコガネ、コヒゲシマビロウドコガネがある。特にコヒゲシマビロウドコガネは、遊磨正秀博士が養父郡大屋町田淵山(上記妙見山に近いところ)で夜間採集をされ、その採集品の一部を恵与いただいた中に2♀があり、筆者が兵庫県初記録として報告した(きべりはむし Vol. 5, No. 1・2, 1977)。ところが、この妙見山昆虫採集目録の中に1 ex. の記録が既にあったことになる(1962)。この種は、兵庫県下では上記2地点の記録しか知られていない珍品である。わりと近い距離で採集されているので、この付近には分布しているものと思われる。

高橋氏の連絡によると、一昨年に起きた日光院の庫裏の火災により、資料その他は焼失したとのこと。この3文献もほとんど現存していないと思われる(山本茂信先生からも、文献が残っているかどうかかわからないとお電話いただいた)。いずれにしても、貴重な文献を見せて下さった高橋氏に厚く御礼申しあげる。